

令和4（2022）年度 学校と地域の連携推進セミナー①

実施報告

実施日：令和4年6月1日（水）

複雑化、多様化が進む社会の中で、子どもたちにこれからの時代を生き抜く力を育むためには、学校と地域が連携して、子どもたちの成長を支える基盤をつくる必要があります。これらの視点を意識して受講者は講話を聴きました。

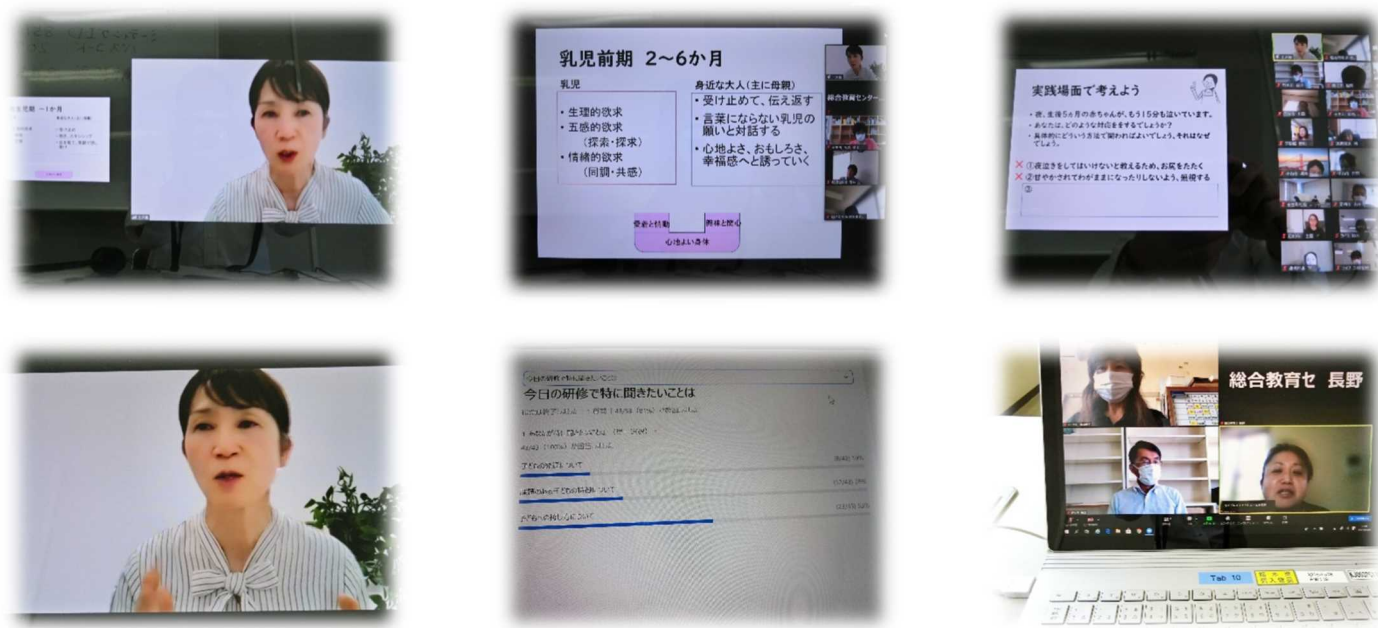
第1回は「放課後活動指導者研修」との合同開催です。多様な子どもへの関わり方などを学びます。オンライン（Zoom）で実施し、12名の方が参加しました。

○ 講話「子どもを理解しよう～子どもの発達に応じた大人のかかわり方～」

宇都宮共和大学子ども生活学部教授 土沢 薫 氏

最初に、子どもの心身の発達について説明がありました。特に心の発達については、子どもの中に希望と不安が両立している状況において、子どもが不安を乗り越えようとするエネルギーに対し、大人は子どもが力を発揮できるような関わり方をすることが大切であると話がありました。また、子どもの発達の過程における大人の関わり方として、子どもの成長段階に応じた大人の具体的な関わり方が示され、土沢先生から例として提示された実践場面で大人はどのような関わり方をすべきなのかについて、受講者に問いかけがありました。受講者にとっては、場面に応じた大人としての関わり方を色々と考える機会となりました。

最後に、ブレイクアウトルームの中で、受講者は講話の感想や今までの子ども（児童、生徒）に対する関わり方に関する話し合いと研修のふりかえりを行っていました。



☆受講者の声（アンケートから）

- ・子どもの発達段階に応じた対応の方法や発達に特徴のある子どもについての対応など、普段理解しているはずのことについて改めて確認することができました。
- ・現在、養護教諭として小学校に勤務しています。様々な発達段階を理解し、子どもの特性を把握した上で強みを生かす援助、これらは全て保健室経営に通じるものがあると思いました。特に、子どもの心を開き打開策を見いだす講話の中で、アクティブ・リスニング、共感、相互の信頼、影響について実践し、行動変容に向かえるような支援方法を模索したいです。
- ・子どもを理解するという意味で、成長の発達特性を学ぶことができて良かったです。土台の積み重ねが大切であり、子どもの問題行動の背景について、その時期の成長過程まで遡ることが重要であり、児童期であってもその時期の背景を考えることが必要であると理解しました。また、目の前の出来事に対し、どうしてだろうと考えてみる、思考の転換を図ろうと思いました。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp

